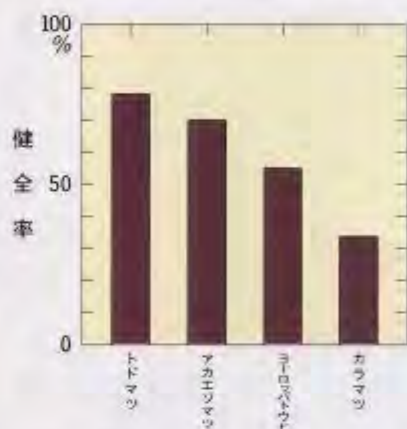


針葉樹の葉の酸性雨被害

酸性雨の被害が目に見える形で現れる例としては、アサガオの花の脱色が知られていますが、樹木の場合はどうなのでしょう。人工的に作った強い酸性雨を苗木に散布する実験で、針葉樹の葉に現れる酸性雨被害を調べました。

今回使った人工酸性雨はpH2.5のもので、現在降っている酸性雨の平均をpH4.5とすると、その100倍に相当する強い酸です。これを3カ月間毎週2回スプレーでトドマツ、アカエゾマツ、カラマツ、ヨーロツパトウヒの苗木に散布し続けたところ、それぞれの苗木の葉に目に見える被害が現れました。被害の形態が目立ったのは、葉の先端が褐変するものと、小さい斑点状の褐変が散在するものの2通りの被害でした。

今回の実験では、トドマツやアカエゾマツに比べてカラマツやヨーロツパトウヒの方が酸性雨による被害を受けやすい傾向がみられました。この実験で使った酸はかなり強いものですが、雨に比べて強い酸性を示すと言われる霧の場合には、この程度の酸になる可能性があります。皆さんの周りの樹木にはこのような被害が出ていないか確認してみてください。



人工酸性雨 (pH2.5) 処理後の健全率



トドマツの葉の被害症状



カラマツの葉の被害症状



アカエゾマツの葉の斑点状褐変